

## 2023年SF回顧資料（国内SF出版リスト）

（提供・香月祥宏氏）

- 香月（SF マガジン国内SF レビュー欄担当）が、原稿執筆の前段階で“取り上げる可能性がある”として編集部に出したリストが元になっています。
- あくまでも打ち合わせ用です。網羅的・厳密なリストを意図したものではないので、細かいチェックはしていません。参考資料のひとつとしてご覧ください。
- 香月が実際にSF マガジンで紹介したものだけでなく、結果的に他の欄（ファンタジイ、ホラーなど）で扱われたもの、誌面では取り上げられなかったもの等も含まれます。
- 日付はネットで確認できる発売日の場合と奥付の場合があります。

1月

- ・『殲滅特区の静寂 警察庁怪獣捜査官』大倉崇裕（二見書房）1/10
- ・『浮遊』遠野遥（河出書房新社）1/18
- ・『ボス／ベイカー』上田未来（双葉社）1/19
- ・『標本作家』小川楽喜（早川書房）1/24
- ・『裏世界ピクニック8 共犯者の終り』宮澤伊織（ハヤカワ文庫JA）1/24
- ・『令和その他のレイワにおける健全な反逆に関する架空六法』新川帆立（集英社）1/26
- ・『小樽湊殺人事件』荒巻義雄（小鳥遊書房）1/30
- ・『松雪先生は空を飛んだ』白石一文（KADOKAWA）1/30

2月

- ・『猿の掃除屋』風森章羽（講談社）2/1
- ・『漂流都市』嶋戸悠祐（講談社）2/1
- ・『さよなら、無慈悲な僕の女王。』こがらし輪音（実業之日本社文庫）2/3
- ・『水溶性のダンス』河野咲子（ゲンロン SF 文庫）2/10
- ・『秘伝隠岐七番歌合』田場狩（ゲンロン SF 文庫）2/10
- ・『長くて短い一年 ——山川方夫ショートショート集成』日下三蔵編（ちくま文庫）2/13
- ・『憂鬱探偵』田丸雅智（ワニブックス）2/17
- ・『星くずの殺人』桃野雑派（講談社）2/22
- ・『小説 機動戦士ガンダム 水星の魔女1』高島雄哉（角川コミック・エース）2/25
- ・『さよなら、誰にも愛されなかった者たちへ』塩瀬まき（メディワークス文庫）2/25

3月

- ・『ギフトライフ』古川真人（新潮社）3/1
- ・『化石少女と七つの冒険』麻耶雄嵩（徳間書店）3/1
- ・『バルウイルス』高嶋哲夫（角川春樹事務所）3/2
- ・『真夜中のウラノメトリア』神田滯（KADOKAWA）3/2
- ・『腿太郎伝説（人呼んで、腿伝）』深掘骨（左右社）3/3
- ・『破壊された遊園地のエスキース』青島もうじき（anon press）3/5
- ・『禁断領域 イククンジュッキの棲む森』美原さつき（宝島社文庫）3/7
- ・『ポイズン・リバー 異形の棲む湿地帯』阿賀野たかし（宝島社文庫）3/7
- ・『笑って人類！』太田光（幻冬舎）3/8

4月

- ・『SUGU 警視庁特別銃装班』冲方丁（TO ブックス）3/10
- ・『忘らるる物語』高殿円（KADOKAWA）3/10
- ・『五色の舟』津原泰水・宇野亜喜良（河出書房新社）3/11
- ・『それを世界と言うんだね』綾崎隼（ポプラ社）3/15
- ・『ゴリラ裁判の日』須藤古都離（講談社）3/15
- ・『魔女と過ごした七日間』東野圭吾（KADOKAWA）3/17
- ・『花に埋もれる』彩瀬まる（新潮社）3/17
- ・『回樹』斜線堂有紀（早川書房）3/23
- ・『上海灯蛾』上田早夕里（双葉社）3/23
- ・『世界警察4 悠久のプロスティグレイ』沢村鐵（中央文庫）3/23
- ・『マイ・リトル・ヒーロー』冲方丁（文藝春秋）3/24
- ・『走馬灯交差点』西澤保彦（集英社）3/24
- ・『ありふれた金庫』北野勇作（ネコノス文庫）3/29
- ・『NOVA 2023年夏号』大森望編（河出文庫）4/5
- ・『魔女のいる珈琲店と4分33秒のタイムトラベル』太田紫織（文春文庫）4/5
- ・『LOG-WORLD』八杉将司（SF ユースティティア）4/11
- ・『街とその不確かな壁』村上春樹（新潮社）4/13
- ・『半村良“21世紀”セレクション1 不可触領域／軍靴の響き【陰謀と政治】編』半村良（徳間文庫）4/13
- ・『こんとんの居場所』4/19（国書刊行会）
- ・『ぼんぼん彩句』宮部みゆき（KADOKAWA）4/19
- ・『カンブリア III 無化の章-警視庁「背理犯罪」捜査係』河合莞爾（中公文庫）4/21
- ・『八杉将司短編集 ハルシネーション』八杉将司（SF ユースティティア）4/22
- ・『WALL』周木律（角川文庫）4/24
- ・『アブソルート・コールド』結城充考（早川書房）4/25
- ・『工作艦明石の孤独4』林譲治（ハヤカワ文庫JA）4/25
- ・『芥子はミツバチを抱き』藍内友紀（KADOKAWA）4/26
- ・『納戸のスナイパー』北野勇作（ネコノス文庫）4/26
- ・『トゥモロー・ネヴァー・ノウズ』宮野優（KADOKAWA）4/28

5月

- ・『ヴァケーション 異形コレクションLV』井上雅彦監修（光文社文庫）5/10
- ・『終末惑星ふたり旅』蒼月海里（星海社 FICTIONS）5/17
- ・『きみはサイコロを振らない』新名智（KADOKAWA）5/18

## 5月

- ・『ちょっとこわいメモ』北野勇作（福音館書店）5/19
- ・『A I と S F』日本SF作家クラブ編（ハヤカワ文庫JA）5/23
- ・『サイケデリック・マウンテン』榎本憲男（早川書房）5/23
- ・『マルドゥック・アナトマス8』冲方丁（ハヤカワ文庫JA）5/23
- ・『時を追う者』佐々木譲（光文社）5/24
- ・『ねこラジオ』北野勇作（ネコノス文庫）5/24
- ・『動くはずのない死体 森川智喜短編集』森川智喜（光文社）5/24
- ・『環境省武装機動隊 EDRA』斉藤詠一（実業之日本社）5/25
- ・『鈍色幻視行』恩田陸（集英社）5/26
- ・『仮面物語』山尾悠子（国書刊行会）5/26
- ・『空想の海』深緑野分（KADOKAWA）5/26
- ・『彼女が言わなかったすべてのこと』桜庭一樹（河出書房新社）5/29
- ・『わたしたちの怪獣』久永実木彦（東京創元社）5/31

## 6月

- ・『レーエンデ国物語』多崎礼（講談社）6/14
- ・『未来経過観測員』田中空（Independently published）6/15
- ・『戸張と御子柴 孤島の夜の黄泉還り』蒼月海里（KADOKAWA）6/16
- ・『あなたは月面に倒れている』倉田タカシ（創元日本SF叢書）6/19
- ・『ツインスター・サイクロン・ランナウェイ3』小川一水（ハヤカワ文庫JA）6/20
- ・『馴染み知らずの物語』滝沢カレン（ハヤカワ新書）6/20
- ・『夜獣使い 黒き鏡』綾里けいし（ハヤカワ文庫JA）6/20
- ・『アリアドネの声』井上真偽（幻冬舎）6/21
- ・『限界国家』楡周平（双葉社）6/21
- ・『神獣夢望伝』武石勝義（新潮社）6/21
- ・『オーグメンテッド・スカイ』藤井太洋（文藝春秋）6/22
- ・『湖畔のエコー』富永夏海（anon press）6/25
- ・『流れる島と海の怪物』田中慎弥（集英社）6/26
- ・『夜果つるところ』恩田陸（集英社）6/26
- ・『不実在探偵の推理』井上悠宇（講談社）6/27
- ・『この夏の星を見る』辻村深月（KADOKAWA）
- ・『世界の終わりのためのミステリ』逸木裕（星海社 FICTIONS）6/28
- ・『榎ノ原戦記』花村萬月（徳間書店）6/30

## 7月

- ・『グラフ・ツェッペリン あの夏の飛行船』高野史緒（ハヤカワ文庫JA）7/1
- ・『ノウイトオール あなただけが知っている』森バジル（文藝春秋）7/5
- ・『魔女のいる珈琲店と4分33秒のタイムトラベルII』太田紫織（文春文庫）7/5
- ・『ドライブイン・真夜中』高山羽根子（U-NEXT）7/7
- ・『禍』小田雅久仁（新潮社）7/12

## 8月

- ・『無限の月』須藤古都離（講談社）7/12
- ・『アンデッドガール・マードーフアルス4』青崎有吾（講談社タイガ）7/14
- ・『梅雨物語』貴志祐介（KADOKAWA）7/14
- ・『オーラリメイカー〔完全版〕』春暮康一（ハヤカワ文庫JA）7/19
- ・『もぬけの考察』村雲菜月（講談社）7/21
- ・『祝福』高原英理（河出書房新社）7/26
- ・『ウェルテルタウンでやすらかに』西尾維新（講談社）7/26
- ・『未来の「奇縁」はヴァースを超えて』（プレジデント社）7/28
- ・『ザイオン・イン・ジ・オクトモーフアイシュタルの虜囚、ネルガルの罫』伊野隆之（アトリエサード）7/28
- ・『黄金蝶を追って』相川英輔（竹書房文庫）7/31
- ・『障害報告：システム不具合により、内閣総理大臣が40万人に激増した事象について』長谷川京（anon press）7/31
- ・『八月の御所グラウンド』万城目学（文藝春秋）8/3
- ・『奇病庭園』川野芽生（文藝春秋）8/4
- ・『紙魚の手帖 Vol.12 GENESIS』（東京創元社）8/10
- ・『惑星まほろば』太田忠司（書肆盛林堂）8/13
- ・『コスタ・コンコルディア 工作艦明石の孤独・外伝』林譲治（ハヤカワ文庫JA）8/17
- ・『沈没船で眠りたい』新馬場新（双葉社）8/18
- ・『ドゥルガーの島』篠田節子（新潮社）8/18
- ・『カム・ギャザー・ラウンド・ピープル』高山羽根子（集英社文庫）8/21
- ・『賢治と妖精琥珀』平谷美樹（集英社文庫）8/21
- ・『2030年のゲーム・キッズ』渡辺浩武（星海社 FICTIONS）8/23
- ・『ラウリ・クースクを探して』宮内悠介（朝日新聞社出版）8/23
- ・『ヘルメス』山田宗樹（中央公論新社）8/25
- ・『竜神君の冒険』川野京輔（論創社）8/29
- ・『黒い糸』染井為人（KADOKAWA）8/30
- ・『大阪SFアンソロジー OSAKA2045』正井編（Kaguya Books）8/31
- ・『京都SFアンソロジー ここに浮かぶ風景』井上彼方編（Kaguya Books）8/31
- ・『無法の世界 Dear Mom, Fuck You』樋口毅宏（KADOKAWA）8/31
- ・『ヴァンプドッグは叫ばない』市川憂人（東京創元社）8/31

## 9月

- ・『甲府物語』飯野文彦（SFユースティティア）9/1
- ・『たまたま座ったところに“すべて”があり、それが直腸に入ってしまった。』惑星ソラリスのラストの、びしょびしょの実家でびしょびしょの父親と抱き合うびしょびしょの主人公（anon press）9/2

- ・『見習い天使 完全版』佐野洋／日下三蔵編（ちくま文庫）9/11
- ・『私は命の縷々々々々々』青島もうじき（星海社 FICTIONS）9/13
- ・『ドードー鳥と孤独鳥』川端裕人（国書刊行会）9/17
- ・『ゼッタイ！ 芥川賞受賞宣言～新感覚文豪ゲームブック～』佐川恭一（中央公論新社）9/21
- ・『ウは宇宙ヤバイのウ！〔新版〕』宮澤伊織（ハヤカワ文庫 JA）9/20
- ・『本の背骨が最後に残る』斜線堂有紀（光文社）9/21
- ・『邂逅の滝』遠田潤子（光文社）9/21
- ・『水都眩光 幻想短篇アンソロジー』（文藝春秋）9/25
- ・『蜘蛛の牢より落つるもの』原浩（KADOKAWA）9/26
- ・『エレファントヘッド』白井智之（KADOKAWA）9/26
- ・『夢に追われて』朝比奈弘治（作品社）9/27
- ・『最果ての泥徒』高丘哲次（新潮社）9/29

- ・『列』中村文則（講談社）10/5
- ・『一步下がって、てめえの顔とファックしろ！』平大典（anon press）10/8
- ・『夢分けの船』津原泰水（河出書房新社）10/11
- ・『うか 岡田麻沙作品集』岡田麻沙（惑星と口笛ブックス）10/12
- ・『金星の蟲』西島伝法（ハヤカワ文庫 JA）10/18
- ・『幽玄F』佐藤究（河出書房新社）10/19
- ・『梟の胎動』福田和代（集英社文庫）10/20
- ・『唐木田探偵社の物理的対応』似鳥鶏（KADOKAWA）10/20
- ・『宙わたる教室』伊与原新（文藝春秋）10/20
- ・『あの日見た流星、君と死ぬための願い』青海野灰（メディアワークス文庫）10/25
- ・『ときときチャンネル 宇宙飲んでみた』宮澤伊織（創元日本 SF 叢書）10/31

- ・『カーテンコール』筒井康隆（新潮社）11/1
- ・『乗物綺談 異形コレクション LVI』井上雅彦監修（光文社文庫）11/14
- ・『真夜中法律事務所』五十嵐律人（講談社）11/15
- ・『言葉は君を傷つけない』夏凧空（双葉文庫）11/15
- ・『嘘をついたのは、初めてだった』講談社編（講談社）11/15
- ・『梟の好敵手』福田和代（集英社文庫）11/17
- ・『さやかに星はきらめき』村山早紀（早川書房）11/21
- ・『解答者は走ってください』佐佐木陸（河出書房新社）11/21
- ・『ローレン 意味のない記号の詩』牧野楠葉（日本橋出版）11/22
- ・『龍の墓』貫井徳郎（双葉社）11/22
- ・『電話交感 私とおばあちゃんの七日間の奇跡』こがらし輪音（角川文庫）11/24
- ・『亀を見に行く』北野勇作（anon press）11/26

- ・『地雷グリコ』青崎優吾（KADOKAWA）11/27
- ・『防衛大臣 山本五十六』吉田親司（エムディエヌコーポレーション）11/27
- ・『海没都市 TOKIYO』荒巻義雄（小鳥遊書房）11/30
- ・『奏で手のヌフツレン』西島伝法（河出書房新社）11/30

12月

- ・『巢 徳島 SF アンソロジー』なかむらあゆみ編（あゆみ書房）12/2
- ・『超短編! 大どんでん返し Special』（小学館文庫）12/6
- ・『不夜鳥』荻堂頤（祥伝社）12/8
- ・『播磨国妖綺譚 伊佐々玉の記』上田早夕里（文藝春秋）12/8
- ・『ソードアート・オンライン オルタナティブ ミステリ・ラビリンス 迷宮館の殺人』紺野天龍（電撃文庫）12/8
- ・『プライベートな星間戦争』森岡浩之（星海社 FICTIONS）12/13
- ・『彼女が生きてる世界線! 3 失われた生存ルートを求めて』中田永一（ポプラキミノベル）12/13
- ・『万象3』（惑星と口笛ブックス）12/14
- ・『十五光年より遠くない』新馬場新（ガガガ文庫）12/18
- ・『レイの世界 —Re:I— 3 Another World Tour』時雨沢恵一（KADOKAWA）12/18
- ・『赫き女王』北里紗月（光文社）12/20
- ・『人探し』遠藤秀紀（双葉社）12/20
- ・『対怪異アンドロイド開発研究室』饗庭淵（KADOKAWA）12/22
- ・『迷犬ルパン異世界に還る』辻真先 12/31

10月

11月